

# みちしるべ

日本福音ルーテル教会  
九州教区女性会  
第20期 106号

発行者 平山美保  
編集者 岡田レツ  
印刷 平山印刷出版

### 主題聖句

あなたの道を主にまかせよ。／信頼せよ、主は計らい  
あなたの正しさを光のように／あなたのための裁きを  
真昼の光のように輝かせてくださる。 詩編 37 編 5～6 節

主題「主と共に歩む」

## 誇りを持ち続けられ ますように



牧師 白川道生  
佐賀教会  
唐津教会

「もし、確信と希望に満ちた誇りとをもち続けるならば、わたしたちこそ神の家なのです。」

「わたしたちこそ神の家」とは、なんと明るいイメージでしょうか。わたしたちが、確信と希望に満ちた誇りを待ち続けるならば、とありますから、「誇り」を失ってはなりませんね。

わたしここで思い出した話がありました。30年も時計屋を営んできた人へインタビューしたラジオの放送でした。最初の質問は「良い時計と悪い時計を見分けるコツを教えてください」。すると時計屋さん、反対に質問を返しました。「良い時計とはどんな時計だと思いますか？」

「いますか？」皆さんなら、どうお答えになるでしょうか？ 値段の高い時計ですか、機能がたくさんある時計？…この時計屋さんには静かに話されました。「わたしは、本当に値打ちのある時計とは、直しても、まだまだこれを使いたいと思わせる時計だと考えています。だから、わたしのところに持ってこられる時計はみんな良い時計で、直せない諦めるには時間がかかります。」

「お見事！とても説得力のある言葉だと敬服いたしました。大切に思っ心を入れ替えるところに値打ちが出てくるのですね。」  
翻って、わたしたち人間はどうでしょうか？確かに、もう何年も使ってきた時計が古くなりました。最近では調子の悪いところもいっぱい！「昔は良かったけど、今はもうダメなの…」等々。装いの変化に伴って、自分の値打ちまでもが失われ、価値が消えたと感じてしまふ。そんな老いの実感を、チャレンとして務めた老人ホームで何度も聞いてまいりました。

「姿は変わっても、神さまは変わらずにあなたのうちに留まり続けておられる。そう信じて、どこまでも、どうあるうとも大切な命だと考え抜くこと。時間がたつて生まれてくる価値があるので、すから、ひとつに寄り添い、ひとつを深めてゆきましょう。どうか誇りを持ち続けられますように。」



# 関係を紡ぐということ

第20期九州教区女性会 会長 平山 美保

2019年の待降節を過ごしています。皆さまに主の祝福が豊かでありませうように。

20期の2年目も、恵みにつつまれた1年でした。

3月に書記の安藤さんを函館にお送りしました。後任に高濱さんを遣わしてくださり、感謝しております。10月にメッセージを北海道にもお送りしましたところ、「野の花の会」からお礼状をいただきました。

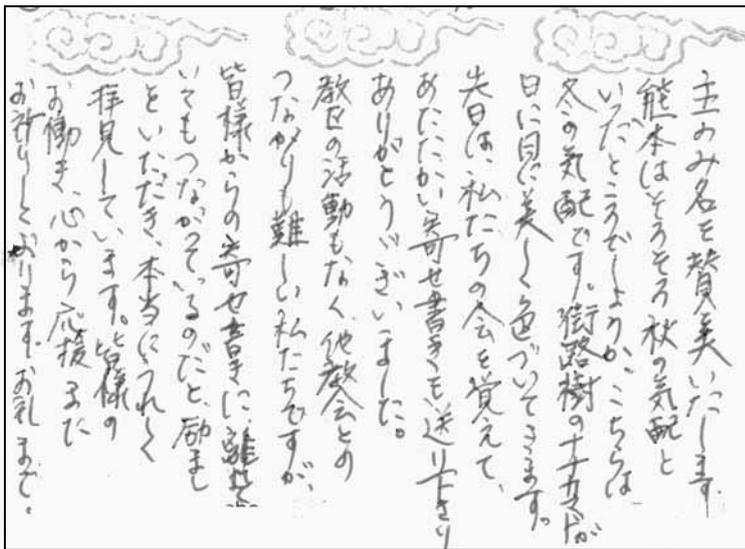
5月には福岡地区の集い(役員全員)、6月は鹿児島教会のペンテコステ礼拝と集會室新装の祝福式(役員3名)、8月には筑後地区の「平和の集い」(役員5名)に参加しました。いずれの会においても、特色ある学びと温かい交わりを与

えられました。

松澤員子氏のバングラデシユでの教育支援の活動をお聞きすることができたことにも感謝です。

松澤さんを通して語られたマザーテレサの言葉を胸に刻んでいきます。「遠いからと言って何もできないと思うのでなく、祈り続ける。そうすればどうすればよいか、示される」。関係を紡ぐには、まず

## 函館教会「野の花の会」安藤さんから



わたしたちが送ったメッセージへのお礼が届きました

祈ることだと教えられました。祈りから関係が始まり培われるのだと。たとえ遠くても、そして近くても。11月に連盟会長・中原さんが熊本に來られ、打ち合わせを行い、総・大会の具体的な準備が始まりました。新しい年も希望に満たされますように祈ります。



## 第25回女性会連盟総・大会

2021年6月8日(火) 13:30 ~ 9日(水) 15:00

会場 ホテル熊本テルサ TEL.096-387-7777

熊本市中央区水前寺公園 28-51

熊本地震からの復興、  
皆さまからの支援と祈りに感謝しながら  
3年に1度の総・大会を熊本で開催します



# 神さまの家族

二日市教会 杉原 正子

## 二日市教会女性会

これからの社会、高齢化が進み65歳以上が4人に1人。人生90年の時代を迎えます。二日市教会も高齢化が進み、ここ数年で4人(ほとんどの方が90代)の方が天に召されました。家族の介護を受け生活をされている人、



M姉とO姉

一人暮らしが難しくなり、介護施設に入所された人、独居で訪問介護を受けながら生活されている人。残念なことに、二日市教会を長年にわたり支えてこられたN姉(100歳)は入院され、事情があつて教会には連絡が途絶えてしまい理不尽さを感じています。人の人生はいろいろです。今はほとんど牧師夫妻が献身的にお世話されています。

永年、精神を患い老後は介護施設で過ごされ、身寄りもなく教会にすべてを依頼された男性が昨年亡くなりました。葬儀はしなくてよいとのことでしたが、牧師先生は家族葬にしようといわれ、牧師夫人の奏楽、讃美歌を歌い花に囲まれ、穏やかに天に召される方を見送りました。教会は神さまの家族だと思

いました(エフエソ2・19)。今年、米寿を迎えられたM姉、

今年、米寿を迎えられたM姉、

O姉の2人のお働きにとっても感謝しています。世代交代で会長をさせていただき、連盟・教区女性会に参加し、女性会が消えることなく存続していることに誇らしく思いました。

M姉は、昨年まで現役で役員をされ、教会のわからないことがあれば教えていただいていた。礼拝に出席できない会員の方々に手紙を添えて週報、新聞を送っています。

O姉は、長年聖餐式のパンを焼き掃除の奉仕をされてこられました。2年前には心を病む青年(幼い時にお世話されていた)と一緒に生活をされ、1年後には元気な姿をみる事ができ、「神のなさることはすべて時になつて美しい」(伝道3・11)という聖書の言葉が浮かびました。痛い足をひきずりながらも礼拝に出席されていましたが、今は宣教師の先生が送ってきてくださいます。

介護に携わる仕事をし、高齢者と接していて神様とつながっていると認知症にならないので



11月 礼拝後の昼食会

は、とよく思います。日曜礼拝を守り、人と交わり、祈りのある生活が高齢に磨きをかけ心豊かに過ごせるのではないかと思っています。

11月に82歳の男性と61歳の女性の方の結婚式があります。なんと素晴らしいことでしょう。喜ぶ者と共に喜び、泣くものと共に泣きなさい(ローマ12・15)。教会は神さまの家族としてこれからも歩んでいきたいと思っています。

20期活動目標四つの柱 2 「高齢の会員と共に」

恵みを分かち合う」

共に恵みを



## 紹介

いつもの、わたしたちの

## 活動

## 博多教会

## キリストを知るとい知識の香りを漂わせて

博多教会女性会「<sup>みぎわかい</sup>汀会」が担っている主な働きは、月1回の例会、聖餐式のお世話、愛餐会の食事作り、第3日曜日のコーヒブレイクのサンドウィッチ作り、会堂・南博ホールトイレ清掃、バザーの台所担当等です。例会は約20名の会員の参加で行われています。会員の皆さんは1部の池谷牧師から「連盟会報」毎月の御言葉の説き証をしていただく聖書の学びを心待ちにしています。

その後、会員から感想、質問などの発言の時間が設けられ、その中で信仰の証をお聞きし、姉妹の信仰の歩みを知ることができるなど、深い交わりの時間が持たれています。

2部では汀会の月ごとの奉仕についての役割・分担が話し合われたり、ご病気などで欠席して



月1回(第3週)のサンドウィッチ作り

おられる方の近況が報告されたりと、祈りの課題が与えられています。

また、トイレ掃除、バザーなどの食事作りでは、七灯会(男性の会)から頼もしい協力をいただいています。

全会員の方々と協力し、喜びをもって奉仕できることに感謝しています。

(榎津直江)

## 主にある女性会

## 合志教会

合志教会女性会は、正会員が6人と会報のみ会員が5人。活動は毎月の例会は聖研と話し合いと祈りの時をもちます。月に1度の仕事会ではこの何年か愛泉保育園の子どもたちに手作りのおもちゃを作りました。

8月にフェルト棒つなぎをプレゼントしました。次は清泉保育園にも作るつもりです。10月、子ども祝福礼拝のためにキャンディーレイを作りました。手を動かしながらおしゃべりに夢中になる時もあります。夏祭り、2月の発表会弁当、バザーと保育園と教会と共に神様に守られていると嬉しく思います。

大事なメンバーの山之内姉は先生の看病なさっているので月に一度牧師先生と共に訪問し、交わりの時をもっています。お二人のことはいつも祈っています。

女性会は発会して40年。連盟総・大会に毎回出席してきました。皆さまからの支援金を有効に使わせていただき、感謝です。教会で働く元気の素になっています。次世代の女性会の人たちのために、高齢化に負けずつづきますように。(斉藤禮子)



10月の祝福礼拝のキャンディーレイ作り

証言

平和を実現する人々

熊本教会

那須

幸



漆黒の闇夜、炸裂する無数の焼夷弾、真つ赤に燃え上がる家々、飛行機の急降下する突き刺すような音、機銃掃射、ただひがすら防空壕の中で身を伏せていた12歳のわたし。1945年敗戦直前の熊本市は一面黒い焼け野原だった。

ただどどんな体験でもそれはその人のもの。想像はできても実際には他人事、解らない。だから戦争は止めて！平和な世界をと、いくら叫んでも戦争はなくならない。

日本でこの74年、平和であったことは素晴らしいことだと思ふ。永遠に戦争を放棄すると

20期活動目標四つの柱 4  
「平和の問題に  
目を向けよう」

宣言した憲法9条の重さをかみしめている。

9月に教会の修養会で島原口之津に行った。かくれキリシタン殉教遺跡などを巡りながら考える時も与えられた。踏み絵は形で絵踏みは行為だと言われ、苦悩が滲みこんだ踏み絵をみながら思った。人前には見えないけれど、わたしはどれだけ絵踏みをしただろうか。

人はみな自己中心。自分が主人公。だけど相手中心に考えることができたなら、そしてどんな時も神さま中心に考えることができたなら、平和はやってくる。

平和を実現する人々は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。

学び

平和をつくる人々

アフガニスタン

用水路が運ぶ恵みと平和

久留米教会

原

真理

ペンシャワール会の名前は、尊い働きだということしか知りませんでした。今は、支えたいと思っています。

大千ばつで、国民の8割を占める農民が仕事を失い、飢饉で多くの人々が命を失うなか、日本の伝統的な工法を用いて砂漠を緑に変え、彼らが自活していける道を示したのです。対テロ戦争の爆撃が続くな



かで、アフガニスタンの人々の為に働き続けるその姿は、まさに隣人のたとえの実践です。話で聴くのと、映像でその姿を見るのでは全く違いました。その地に平和の種をまき、豊かな実を結ぶよう導く重要な働きと感じました。言葉ではこの働きの重みを伝えることができません。是非映像を見ていただきたい。

安全保障は武器を持つことから決して生まれえない。難民から農民に戻ったお一人の言葉が、頭から離れません。

「人は仕事に忙しくしてれば、戦争のことなど考えない。仕事がないからお金の為に戦争に行く。おなかいっぱいになれば誰も戦争など行きません。」

ホーリネス、無教会派、聖公会。それぞれの教会や学校で過ごし、最終的に落ち着いたのがルーテルでした。

物心ついた時から親に連れられ教会に通い育ち、教会生活は当たり前でありながら、長い反抗期を過ごしてきました。洗礼も受けず、教会活動も心の中で一線を引いて関わっていました。牧師とは結婚しない、教会が嫌いだと口にしていても、神さまはわたしが嫌だという方へと引っ張って行くのです。

学生時代夢中になったパイプオルガン、高校時代に出会った人生を共に歩いていくパートナー、父の葬儀でみた礼拝堂に満ちた暖かな光。まだ、30年足らずの人生ですが、振り返るとそこかしこに神さまの手が私を引っ張った瞬間があります。悔しいけれど、自分が振り払おうともがっちりと掴んで話さない神さまの手によって、わたしは教会に結ばれているのだと思います。

温かく迎え入れてくれたルーテル教会で、これからも神さまに引っ張られながら教会生活を送ります。



水俣教会 関 由莉子

神さまに引っ張られ続ける感謝

## わたしにとって教会は



神水教会 伊東真理子

### 落ち着く場所

わたしは幼いころからクリスチャンの母に連れられて教会に行っていました。

高校生くらいになると、友だちと遊びに行きたい気持ちが強くなり、教会を休むことが多くなり、大学生になると、ほとんど行かなくなりました。そしてそのまま教会とは疎遠になっていました。

けれど、子どもを産んで、子育てと仕事に追われ慌ただしい日々を送るうちに、また教会へ足を運ぶようになりました。慌ただしい1週間を過ごして日曜日に教会に着くと、やっと1週間が終わったような気持ちになり、とても落ち着きます。

今のわたしにとって教会は、心の休息をすることができる場所なのだと感じます。落ち着ける場所で御言みことばを聞き、気がつかない間に気持ちや考えがリセットされて、また新しい1週間を歩み始めることができているのではないかと思います。

娘も教会の皆さまに優しくして頂き、今は楽しそうに教会に行っています。これからも教会にいけることを感謝しながら過ごしていきたいと思います。

# ルーテルこどもキャンプ

## 初めてのこどもキャンプ

博多教会 高島 詩歌<sup>うた</sup>

「5年生になったから、夏休みのこどもキャンプに行ってみない？楽しいよ！」と、牧師先生や教会学校の先生にすすめられて、東京の三鷹で行われたルーテルこどもキャンプに初めて参加しました。

行きは新幹線で行くことになりましたが、牧師先生と福岡から一緒に参加した友だちと楽しく三鷹に着くことができました。

キャンプの始めにグループ分けがあり、一緒に来た友だちと別れてしまったので少し不安でしたが、すぐにグループの仲間と仲良くなりました。

キャンプではフィリピンの文化について学びながら、神様のお話を聞いたり、ハロハロを作ったり、ハイキングでウォークラリーもしました。

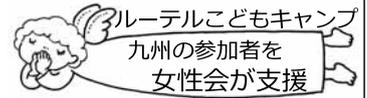
このキャンプで一番思い出になったことは、たくさんの友だちができたことです。東京に引っ越した教会の友だちにひさしぶりに会えたこともとても嬉しかったです。

神様が与えてくださった、たくさんの恵みにかんしゃして、来年のサマーキャンプにも参加したいです。

(小学5年)



「ハロハロの国フィリピン  
ごちやまぜのハーモニー」



今回のテーマであるフィリピンを象徴するデザート「ハロハロ」(まぜこぜの意)づくり。はじめは緊張していた子どもたちも、グループ活動を通して徐々に慣れ、どのプログラムも子どもたちは楽しく、前向きに取り組んでいました。

牧師 池谷考史  
(8月6日～8日開催)

# 教区夏の中高生キャンプ

「わたしの平和を与える」

## これからも学び続けたい

箱崎教会 和田 陽太<sup>はると</sup>

今年の夏キャンでは「わたしの平和を与える」という題材でいろいろなことを学びました。

1日目は、みんな久しぶりに会って少し緊張したけど話すときぐうちとけて、そのあとの2日目、3日目も楽しめました。夜のナイトショーで『沈黙』を見て僕は、神さまを信じる心を学びました。

2日目は、外海地区散策をして、映画『沈黙』の舞台になった所をまわり、そのとき

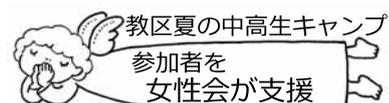
8月7日～9日 会場・長崎教会 8名  
内容：映画「沈黙」鑑賞、遠藤周作文学館見学、外海地区散策、平和について学ぶ(廣瀬美由紀さん)、精道三川台中学・高校の平和学習会参加

の時代背景などがより深く学べました。

夜、ご飯を食べたあと、教会にもどり、「平和」について、廣瀬美由紀さんから長崎の原爆のことについて学び、長崎に原爆が落とされて74年後の今も世界にはたくさんの原爆が残っていて核開発が進んでおり世界が危険な状況に立たされていることがわかりました。

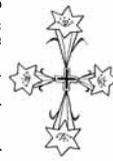
3日目には、精道三川台中学高等学校へ行き、アーサー・ピナードさんの話を聞き原爆の強さや、長崎に原爆が落とされた後も、たくさんの場所に原爆が落とされていたことがわかりました。

この3日間で神さまについてや、平和について考えられて勉強になりました。これからももっと、平和についてや神さまについて学んでいきたいです。(中学2年)



ペシヤワール会・中村哲医師が凶弾に倒れま  
した。8月に筑後地区の集いでその活動を学  
んだばかりでした。人生をささげたその活  
動に感謝し、心から平和を祈ります。

### ご召天



矢ヶ部シゲ子 98歳 (二日市)

2018年12月1日

藤田登美子 89歳 (日田)

2019年5月5日

門脇 愛子 88歳 (神水)

2019年9月12日

椎名トヨコ 92歳 (大江)

2019年9月16日

白川 光世 87歳 (箱崎)

2019年11月16日

これまでのお交わりを感謝します。  
ご家族のみなさまのうえに、主の  
お慰めをお祈りいたします。

### メリークリスマス！

皆さま、第106号にもご協力を  
ありがとうございました。

今回は若い世代の方に教会に対す  
る思いを書いていただきました。未  
来は明るい！と感じました。(R)

### 報告

## 教区女性会修養会・熊本地区秋の集い

2019年9月28日(土) 大江教会

#### 会長会

- 礼拝 関満能牧師
- 20期の活動の柱、教区の活動報告、書記役員の交代報告
- あいさつ 教区社会奉仕部長・井上光行さん
- 各地区活動報告 (福岡・山口さん、筑後・森部さん)
- 中高生キャンプ報告・感想  
(長崎・廣瀬さん、唐津・岡さん)
- 第25回連盟総・大会開催に向けて  
(連盟・江崎さん、大分・野村さん)
- 豪雨災害支援お礼 (佐賀・鶴さん)
- メッセージカード ①九州内全教会へ  
(A3 後日発送) ②北海道の札幌と函館へ

#### 教区修養会&熊本地区秋の集い

■参加 92名

- 礼拝 司式・関満能牧師 説教・立野泰博牧師
- 講演 松澤員子氏 同行・粉山昭恵さん  
ルーテル教会「共に生きる」集い代表

内容：バングラデシュ最北部2県のチャーと呼ばれる大  
河の中州に住む子どもたちに教育を受ける機会を  
提供する活動について聞いた。精力的に活動され  
ていることに感銘を受けた。

学習期間は5年。男女15人ずつを受け入れている。  
5年修了時に全国一斉の卒業資格試験を受けこの  
合格証書が卒業証書となる。これが子どもたちの  
将来にとっても大切なものになる。

- 献金 九州ルーテル学院(阿蘇山荘再建を願って) 28,113円  
ルーテル教会「共に生きる」集い 63,000円
- ミニバザー 「共に生きる」手芸品、レインボーハウス  
(事前に申込) 大分、博多、室園、久留米、健軍、神水
- 感謝 九州各地よりご参加くださり、貴重な学びと心温  
まる交流をもって散会することができた。  
熊本地区当番の大江教会の皆さんのご協力に深く  
感謝します。



バングラデシュ最北部2県で  
現地NGOと協力して小学  
校10校を運営しています。19  
82年から始まっています。

